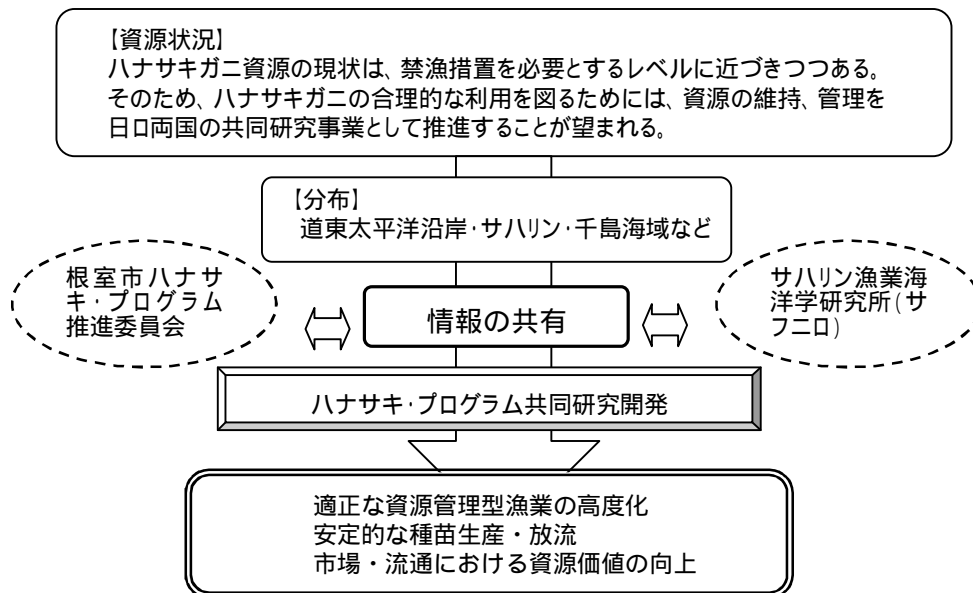


ハナサキ・プログラムは、根室市の特産種であるハナサキガニをめぐる様々な課題を解決するために、ロシア側との科学共同研究を軸にした研究開発、市民向けの啓発活動を実施し、「ハナサキガニ資源の有効利用」と「持続的な漁業の発展」を実現しようとする取り組みであります。

また、このプログラムの推進を通じて、民間レベルにおける科学技術交流や日ロ両国の辺境地域が相携えて繁栄する地域経済交流のモデルを開拓し、北方領土返還への環境醸成を図るものであります。

当推進委員会は、根室市がこのプログラムの実施により、ハナサキガニに関する研究開発、国際交流、中心的な産地市場の三点について、経済圏の中核となることを目的に、平成15年に設立しています。

### (1) 背景と目的



### (2) 主な研究課題

- 漁業と資源の実態の解明
- 資源構造と資源生態の解明
- 増養殖技術の実用化開発
- 味覚品質指標の開発と品質向上技術の開発
- 資源回復と資源管理方策の設計

### (3) 取り組みの経過

本プログラムは、2004年3月2日ロシア連邦サハリン漁業・海洋学研究所（サフニロ）と当推進委員会で調印された「ハナサキガニ共同研究に関する合意書」に基づき、ハナサキガニの生態及び資源の維持増大、そして市場流通における資源価値の向上を目指すことを目的に、5カ年計画の共同研究が翌年からスタートしています。

平成20年度の「第7回ハナサキ・プログラム・ワークショップ」は根室市において開催され、根室側とサフニロ側から調査及び研究成果についての報告や話題提供とともに、5カ年の研究成果の総括について、専門的な立場からの議論が熱心に行われ、当初計画の取組を終了しました。

今後、その成果は重要な観光資源であります「ハナサキガニ」の資源維持・増大に向け活用し、さらには、当市の基幹産業である水産業や水産加工業の振興発展に役立ててまいります。